

第108回日本選手権・第40回U20日本選手権(2024/新潟) 競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則、国内競技会における広告及び展示物に関する規程、及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2. 招集について

- (1) 招集所は、メイン競技場第4ゲート付近(100mスタート付近)に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピン・競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識(2枚)を受け取る。
 - ② 携帯電話等、競技規則TR6.3.2に関わる機器を持ち込んでないか確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。2種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、TICに用意した「多種目同時出場届」に記入し、1種目目の招集時に招集所へ提出する。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものと見なされ出場できない。

3. 競技者受付とアスリートビブスについて

- (1) 競技者受付をメインスタンド100mスタート付近(スタジアム外側)に設ける。
- (2) アスリートビブスは3枚(胸・背・手荷物用)配布する。※オープン種目は2枚(胸・背) 前回大会優勝者は、ゴールドビブスを胸に着用する。複数種目にエントリーしている場合、該当種目に注意すること。
- (3) アスリートビブスとADカードの配布については、次の時間帯に競技者受付で行う。また、TICのオープン時刻は、以下の競技者受付開始～各日競技終了後20分とする。

・6月26日(水)	12:00～17:00
・6月27日(木)	9:00～17:00
・6月28日(金)	9:30～17:00
・6月29日(土)	7:45～17:00
・6月30日(日)	8:30～14:00 ※小中学生のリレーは日曜のみ受付
- (4) ADカードの配布は、以下の通りとする。場内を移動する際は、必ずADカードを携帯すること。

選手AD:	1名につき1枚
コーチAD:	参加者1名→2枚、参加者2～3名→3枚、参加者4～5名→4枚 参加者6名～9名→5枚、以降5名増えるごとに1枚追加

 ※オープン種目のコーチADは、参加者1名につき1枚配布する。
 ※小中学生リレーのコーチADは、1チームにつき1枚配布する。
 ※日本選手権とU20日本選手権を合わせた参加人数を基準とする。

(参考:選手コーチADに関する注意事項 https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202404/11_140040.pdf)

4. 競技場内への入場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の手配に従いミックスゾーンとPECR(ポスト・イベント・コントロール・ルーム)を通り退場する。なお、決勝において1～3位の競技者を、入賞者控室に誘導する。

5. トラック競技の抽選、及び番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。決定されたレーン順・試技順は、日本陸連公式WEBサイトに掲載する。準決勝以降の組み合わせ、及びそのレーン順も日本陸連公式WEBサイトに掲載する。
- (2) 日本選手権は6(8)に記載の通り欠場届を反映し、1日目は大会前々日、2日目以降は大会前日に番組編成を行う。スタートリストは各日の前日に公開する。
- (3) U20日本選手権の番組編成は、6月21日(金)にWEBサイトに掲載する。
6月18日(火)12時までの欠場届を反映の上番組編成を行うこととし、以降はDNS扱いとする。
- (4) タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録がある場合は、写真判定主任が0.001秒単位の時間を判定して競技者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。
- (5) トラック競技(ハードルを含む100m～800mまでの種目)の決勝において、決勝スタートリスト発表後以下のメット時刻までに空レーン(欠場)が生じた場合、次点の競技者を補充する。

補充対応を行う時間および周知方法は、以下の通りとし、次点/次々点競技者の両者とも出場意思がある場合は、次点選手を優先する。

○日本選手権・U20日本選手権 2日目決勝種目(6月28日)

- ・予選または準決勝終了後～翌28日(金)13:00までの欠場は補充を行う
- ・28日(金)13:00～13:15の間に、WEBサイトにて次点/次々点競技者を同時に知らせる
- ・28日(金)13:15～13:30の間に、次点/次々点競技者はTICにて出場の意思表示を行う(代理でも可)
- ・意思確認後すみやかに、スタートリストの更新を行う

○日本選手権・U20日本選手権 4日目決勝種目 (6月30日)

- ・予選または準決勝終了後～翌30日(日) 12:00までの欠場は補充を行う
- ・30日(日) 12:00～12:15の間に、陸連HPにて次点/次々点競技者を同時に知らせる
- ・30日(日) 12:15～12:30の間に、次点/次々点競技者はTICにて出場的意思表示を行う(代理でも可)
- ・意思確認後すみやかに、スタートリストの更新を行う

(6) (5)の当該競技者は、棄権した競技者のレーンで出走をすることとし、新たな番組編成は行わない。

6. 競技について

(1)トラック競技について

- ①トラック競技の計時は、すべて写真判定システムを使用する。
- ②短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走る。

(2)フィールド競技について

- ①計測は光波距離計測器を使用する。
- ②跳躍、及びやり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が準備したもの、または承認したマーカ―を2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカ―を1つだけサークルの外側に使用することができる。ただし、チョーク・炭マグ等消えないマーカ―の使用は禁止する。
- ③棒高跳の競技者は「棒高跳支柱移動届」をTICで受け取り、自分の希望する支柱の位置を記入し、招集開始時に招集所に提出する。その後位置を変更したい場合は、バーがセットされる前に担当競技役員に申し出る。
- ④三段跳の踏み板は、砂場から男子13m、女子11mの地点に設置する。
- ⑤フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ⑥フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。
- ⑦本スタジアムにおいては、構造上危険を伴うため、どのような方法であっても録画されたものを確認するためにコーチ席との機器の受け渡しをすることはできない。また、受け渡しをしない場合でも、自撮り棒などを使用した録画媒体の確認も危険を伴うので行わないこと。

(3)U20男子の種目については、以下の規格で競技を行う。以下を除く種目は一般規格で競技を行う。

- ・U20男子 110mH ハードルの高さ0.991m
- ・U20男子 砲丸投 6.000kg
- ・U20男子 円盤投 1.750kg
- ・U20男子 ハンマー投 6.000kg

(4)競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。また、競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。

(5)競技者は許可なく競技場所を離れることはできない。競技中トイレに行く場合は必ず競技役員の許可を得ること。(競技規則TR25.19)。

(6)反スポーツマンシップ行為及び不適切な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

(7)欠場する競技者は「欠場届」(TICにも用意)を次の要領で届けること。欠場者を除いて番組編成を行うため、必ず期日までに提出すること。届けずに欠場した者は、その後の本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない措置を講ずることがある。

(8)日本選手権の欠場について、大会期間を通じて複数種目にエントリーしている選手が欠場届を提出した場合、提出された以降の全ての種目に欠場を反映する。ただし、大会医師の判断による欠場の場合はこの限りではない。また、U20日本選手権の欠場については上記を適用せず、両大会にエントリーしている選手がいた場合、日本選手権とU20日本選手権は別大会として欠場情報の反映を行う。

欠場届(日本選手権専用形式) <https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1831/>

- ①大会1日目:6月27日(木)の種目で欠場する場合は、6月25日(火)の12時まで
- ②大会2日目:6月28日(金)の種目で欠場する場合は、6月27日(木)の12時まで
- ③大会3日目:6月29日(土)の種目で欠場する場合は、6月28日(金)の12時まで
- ④大会4日目:6月30日(日)の種目で欠場する場合は、6月29日(土)の12時まで

(提出先)

- ・大会2日前6月25日(火)までの欠場届は、日本陸連欠場届提出アドレス(dns@jaaf.or.jp)へメールで提出
- ・大会前日6月26日(水)以降はTICへ持参もしくは日本陸連欠場届提出アドレス(dns@jaaf.or.jp)へメールで提出

(9)欠場理由は、報道メディア等に公開する場合がある。

(10)日本選手権の男女1500m、男子5000mは、ペースメーカーを付ける場合がある。(女子5000m、男女3000mSCは付けない)ペースメーカーがフィニッシュした場合、記録は公認とし、予選の順位はつけるが、決勝の順位及びWAプレイングスコア(順位ポイント)はつかない。ペースメーカーの設定ペースについては、決勝当日TICに貼り出しをする。(予選は貼り出しをしない)なお、ペースメーカー以外にオープン参加選手がいる場合、上記同様の扱いとする。

7. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

(1)最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。(ただし、天候等の状況により変更することもある。)

日本選手権 走高跳											
	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
男子	2m00/2m10	2m05	2m10	2m15	2m20	2m25	2m29	2m33	2m36	2m38	2cm
女子	1m60/1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	1m87	1m90	1m93	2cm

日本選手権 棒高跳											
	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
男子	任意	5m10	5m20	5m30	5m40	5m50	5m60	5m70	5m77	5m82	5cm
女子	任意	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m25	4m30	4m35	5cm
U20 日本選手権 走高跳											
	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降	
男子	1m90/2m00	1m95	2m00	2m05	2m09	2m13	2m16	2m19	2m21	2cm	
女子	1m55/1m65	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	1m80	1m82	2cm	
U20 日本選手権 棒高跳											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
男子	任意	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	5m25	5m30	5m35	5m40	5cm
女子	任意	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	3m95	4m00	4m05	4m10	5cm

(2) 棒高跳の公式練習について

- ① 棒高跳に出場する競技者は、招集完了時刻以前には競技場所には入場できない。
- ② 公式練習はゴムバーで行う
- ③ 任意の高さ、及び棒高跳支柱の位置で試技順に2回行う。

8. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 投てき用具リストに複数ないもの (JAAF 検定品かつ WA 認証品に限る) は、持ち込みを一人2つまで認める。持ち込み希望者は、以下の時間に持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を TIC に持参すること。
 女子やり：前日6月27日(木) U20・日本選手権 15:00~16:00
 当日6月28日(金) U20 女子 12:50~13:50 / 日本選手権女子 15:00~16:00 (招集完了時刻の3時間前~2時間前)
 男子やり：前日6月28日(金) U20・日本選手権 12:00~13:00
 当日6月29日(土) U20 男子 11:10~12:10 / 日本選手権男子 12:55~13:55 (招集完了時刻の3時間前~2時間前)
 やり以外：競技実施日 各種目招集完了時刻の2時間40分前~1時間40分前
 (U20 女子ノンマー・U20 女子円盤・U20 男子円盤は、TIC オープン時刻~招集完了時刻の1時間30分前)
- (3) WA 認定品かどうかの証明は、本人がしなくてはならない。(認定シールまたは WA サイト情報にて)
- (4) 受け付けた「投てき用具」については「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし、すべての競技者が使用できなければならない。投てき用具は競技終了後に TIC で「預かり証」を確認のうえ返却する。
- (5) 競技場に事前送付された棒高跳用ポールおよびやりの受け渡しは、TIC で指示する。
 また、本連盟申込 (西農運輸 幹旋) による棒高跳用ポールの配送料は、TIC で請求書を受け取り指定日までに振り込むこと。

9. 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型スクリーンおよびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内 (同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内) に、競技者自身または代理人が、TIC を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金 (1 万円) を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出る。

10. 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位までの競技者の表彰は、正面スタンド前の表彰台で行う。
- (2) 表彰式は、ウェアもしくはTシャツで行う。(広告及び展示物に関する規程適用)
- (3) 各種目の1位から3位の競技者には、賞状とメダルを授与する。
- (4) 4位から8位に入賞した競技者には、TIC で賞状を渡す。
- (5) 日本選手権の最優秀選手 男女各1名を全種目終了後に表彰する。(U20 日本選手権を除く)

11. ドーピングコントロールテストについて

日本選手権は、大会要項記載の内容を確認のこと。(※血液検査の対象となった場合、2時間安静後の検査となります。)

12. 一般注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (2) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 選手控えエリアは、メイン競技場バックスタンド側 (1F・2F) コンコースを利用すること。6月26日(水)~30日(日)に入ることができ、26日(水)は13:00から、27日(木)以降は9:30よりメインスタンドNゲートを開場する(補助競技場の開門時刻とは異なる)。スペースに限りがあるため、譲り合って利用すること。
 期間中は荷物を置いておくことができるが、主催者側での管理・監察は行わないため注意すること。尚、動線の妨げ、または設置不可の場所にある荷物は主催者側で移動することがある。

- (4) メイン競技場バックスタンド下の雨天走路は、練習時のみ使用すること。チーム待機場所を雨天走路内に常設することは認めない。
- (5) 雨天走路および招集所には、補助競技場とメイン競技場をつなぐ地下通路を通して移動すること。地下通路内に、チーム待機場所を常設することは認めない。
- (6) 更衣室は、雨天走路内に設ける。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理すること。
- (7) 補助競技場、雨天走路などのW-upエリアや招集所には、中継カメラが立ち入る可能性がある。
- (8) 大会期間中の貴重品の管理は、各自で行う。紛失盗難などの責任は負わない。
- (9) 届けられた遺失物についてはTICで保管する。保管期間は競技会終了までとし、それ以降は日本陸上競技連盟事務局に連絡すること。
- (10) 記録速報は、日本陸連公式WEBサイトに掲載する。
- (11) 「記録証」を希望する競技者は、TICに500円(送料込・後日郵送)を添えて申し込むこと。
- (12) TICでの参加料領収書の発行は行わない。エントリーシステム(決済システム)より、支払証明書を発行することができる。
- (13) 競技場内へ横断幕・応援用のぼり・旗等を持ち付けることはできず、それらに所属企業名(スポンサー名)の露出をすることもできません(本大会協賛社を除く)。また、観客の皆様へ応援グッズを配布することは禁止いたします。
 (参考: <https://www.jaaf.or.jp/pdf/jch/108/tandf/ticket/notice-group.pdf>)
- (14) 提出書類は、次の通りとする。(用紙はTICに用意)

	提出するもの	提出場所	提出時刻
1	欠場届	TIC	招集完了時刻まで
2	多種目同時出場届	招集所	1種目目の招集時
3	投てき用具検査申請書	TIC	招集完了2時間前まで
4	棒高跳アップライト申告書	招集所	招集時
5	上訴申立書(預託金1万円)	TIC	競技規則TR8による
6	記録証明書	TIC	TIC閉鎖時刻まで

- (15) 荒天により競技を一時中断もしくは延期することがある。

1.3. WRK・WA 競技規則に関する補足

<WA 規則が適用される項目>

- (1) 投てき競技は、JAAF検定品かつWA認証品の投てき物のみ使用できる。(TR32.1)
- (2) 同時申込を含めて、試技時間に競技者が不在の場合はパス扱い(-)とする。(TR4.3)
- (3) 日本選手権の欠場について、大会期間を通じて複数種目にエントリーしている選手が欠場届を提出した場合、提出された以降の全ての種目に欠場を反映する。ただし、大会医師の判断による欠場の場合はこの限りではない。(TR4.4)
- (4) トラック競技の決勝において、空レーン(欠場)が生じた場合、次点の競技者を補充する。運用は本注意事項5-(5)を参照のこと。(TR20.2.1 国際注意ii)

<WA 規則が適用されない項目>

- (1) トラック種目、フィールド種目ともに現場での抗議(競技中の抗議)は認めない(TR8.4 および8.5(お適用しない))
- (2) 広告・商標については、国内競技会における広告及び展示物に関する規程を適用する。

1.4. 参考情報

- ◆大会ページ(大会要項/競技注意事項/繰り上げ情報) <https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1831/>
- ◆特設サイト(記録速報/ライブ配信) <https://www.jaaf.or.jp/jch/108/tandf/>
- ◆パリ2024オリンピック日本代表選手選考要項 <https://www.jaaf.or.jp/news/article/16334/>
- ◆ルールブック(競技規則) <https://www.jaaf.or.jp/about/rule/>
- ◆広告規程(参考資料) <https://www.jaaf.or.jp/news/article/14995/>
- ◆国内広告規程 抜粋(PDF資料) https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202404/23_143945.pdf

第108回日本選手権・第40回U20日本選手権(2024/新潟) 練習会場注意事項

- (1) 練習時間、練習種目については別紙練習会場計画を確認すること。
- (2) 練習は、各個人が指定された場所・時間でい、事故防止には万全を期す。競技役員の手配のもと、安全に十分留意し練習を行うこと。
なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は問わない。
- (3) 練習に必要な用具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (4) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (5) 会場への入退場は、必ずADカードを明示する。また、コーチは会場において、常にADカードが確認できるように携帯する。
- (6) 大会1日目以降、雨天練習場を使用できる。(前日練習日に雨天の場合は前日も使用可)
競技役員の手配のもと、安全に十分留意し練習を行うこと。
 - ① 跳躍の助走練習・投てきの助走練習は禁止する。
 - ② 雨天練習場内は、スターティングブロック・ハードル・ミニハードル等の器具の持ち込み、使用は禁止する。
 - ③ スターティングブロック、ハードルの設置については競技日程及び天候等を考慮し競技役員が設置する。
- (7) 補助陸上競技場での練習は次の通りとする。
 - ① 補助陸上競技場開場時刻
 - ・6月26日(水) 13:00~17:00
 - ・6月27日(木) 9:00~20:15
 - ・6月28日(金) 9:30~21:15
 - ・6月29日(土) 7:45~19:15
 - ・6月30日(日) 8:30~19:15
 - ② 6月26日(水) 15:00~17:00に、補助競技場100mスタート付近にて、スターター競技役員によるスタート練習を行うことができる。
 - ③ 競走路の使用は、原則として以下の通りとする。
 - ・1~2レーン：中・長距離
 - ・3~6レーン：短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点)
 - ・7~8レーン：100mH,110mH(ホームストレート)
 - ・8レーン：400mH(第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路)
 - ④ 跳躍種目・投てき種目は練習会場使用日程通り、それぞれの種目の練習を行うことができる。
記載された時間以外は認めない。担当競技役員の手配のもと、安全に十分留意して行うこと。
 - ⑤ 投てき種目については練習時間が限られるため、練習一覧表を十分確認すること。
また、投てき練習の際、必ず監督・コーチ立ち会いのもと安全に十分留意し行うこと。
 - ⑥ 補助陸上競技場インフィールド芝生内への立ち入りを禁止する。(投てき練習を除く)
 - ⑦ **補助競技場でのパーソナルトレーナーの活動は、指定のテント内でのみ認める。**
多くの選手が活用できるよう、活動時以外はテントから退出する。(場所取りは行わないこと)
- (8) **補助競技場から招集所・雨天走路に向かう通路内の場所取りは禁止する。**
- (9) 補助競技場および雨天走路でのW-upの様子は、中継カメラが撮影をする場合がある。

【別紙】 補助競技場及び本競技場練習場 練習会場利用計画

補助競技場及び本競技場雨天走路の練習会場計画

		前日練習日 6月26日(水)	大会1日目 6月27日(木)	大会2日目 6月28日(金)	大会3日目 6月29日(土)	大会4日目 6月30日(日)
	開場時間	13:00-17:00	9:00-20:15	9:30-21:15	7:45-19:15 (※9:00-10:30は、 3~4レーンをバレー車い ず練習占有とする)	8:30-19:15
補 助 競 技 場	トラック	1~2レーン：中・長距離 3~6レーン：短距離（スタートダッシュはホームストレートスタート地点） 7~8レーン：100mH,110mH（ホームストレート） 8レーン：400mH（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路） ※ハードルは、競技日程によってレーン数・高さを適宜変更します。 ※200mのブロックを使用したスタート練習は、400mのスタート位置（6・7レーン）から第2コーナーへ走る形で行うこと。（第3コーナー付近では行わないこと）				
	走幅跳 三段跳	練習可	練習可	練習可	練習可	練習可
	走高跳 (B)	練習可	練習可	×（マット無・助走練 可）	×（マット無・助走練 可）	練習可
	棒高跳 (バック)	×（マット無・助走練 可）	×（マット無・助走練 可）	女子 9:30-15:30	男子 7:45-13:20	—
	砲丸投 (B)	×（ターン練習可）	×（ターン練習可）	×（ターン練習可）	×（ターン練習可）	練習可
	やり投 (A)	×（助走練習可）	×（助走練習可）	14:00-18:00 ※以下優先利用時間 U20 女子 14:20-15:50 女子 16:30-18:00	12:30-15:55 ※以下優先利用時間 U20 男子 12:40-14:10 男子 14:25-15:55	—
	円盤投 (A)	×（ターン練習可）	×（ターン練習可）	女子 10:00-13:20 上記以外×（ターン練習 可）	男子 8:15-11:35 上記以外×（ターン練習 可）	—
	ハンマー投 (A)	×（ターン練習可）	U20 女子 9:05-10:35 U20 男子 10:55-12:25 男子 12:50-14:20 女子 15:10-16:40	—	—	—
雨天 走路	メイン競技場 バック下	×（使用不可）	練習可能時間は補助競技場と同じです。器具の持ち込みはできません。 競技役員からの指示に従って、安全性に十分配慮してください。（場所取り不可）			

※新緑空協による公式スタート練習は、6月26日（水）15時~17時に補助競技場にて行います。

※補助競技場の芝生内は、やり投・円盤投・ハンマー投以外の選手・コーチ以外の立ち入りを禁止します。

※投てきは、×印の場合でもターン練習・助走練習のみであれば練習可能です。

※投てき練習は、**必ず監督・コーチ付き添いのもと安全に配慮し**行ってください。

※各日、その日に行われる競技のW-upを優先とします。

※練習に際しては、練習会場係の指示に従ってください。

※補助競技場は、雷や豪雨等悪天候の場合は使用を禁止することがあります。

【別紙】会場マップ・選手控えエリアなど

◆駐車場

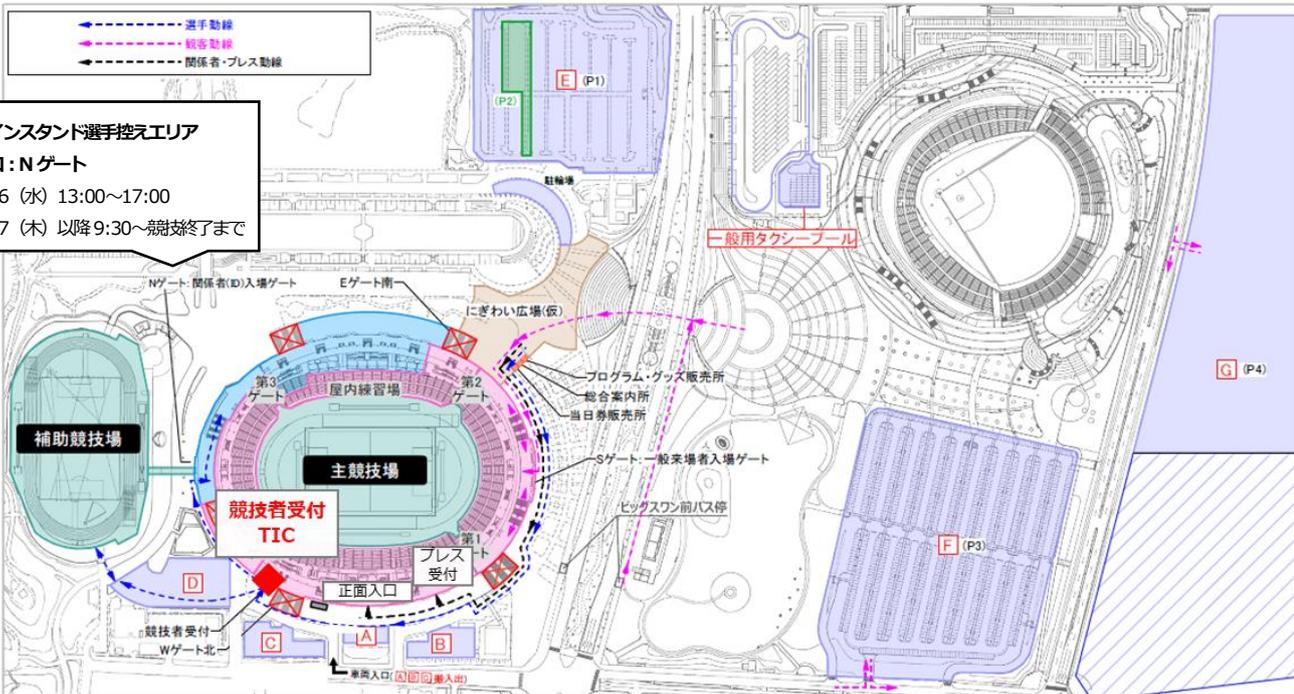
6/27 (水) ~30日 (日) は、P3・P4 をご利用いただけます。
 事前に駐車場チケットをご購入ください。

- ▶アクセスマップ <https://www.jaaf.or.jp/jch/108/tandf/access/>
- ▶駐車場チケット <https://www.jaaf.or.jp/jch/108/tandf/ticket/#parking>

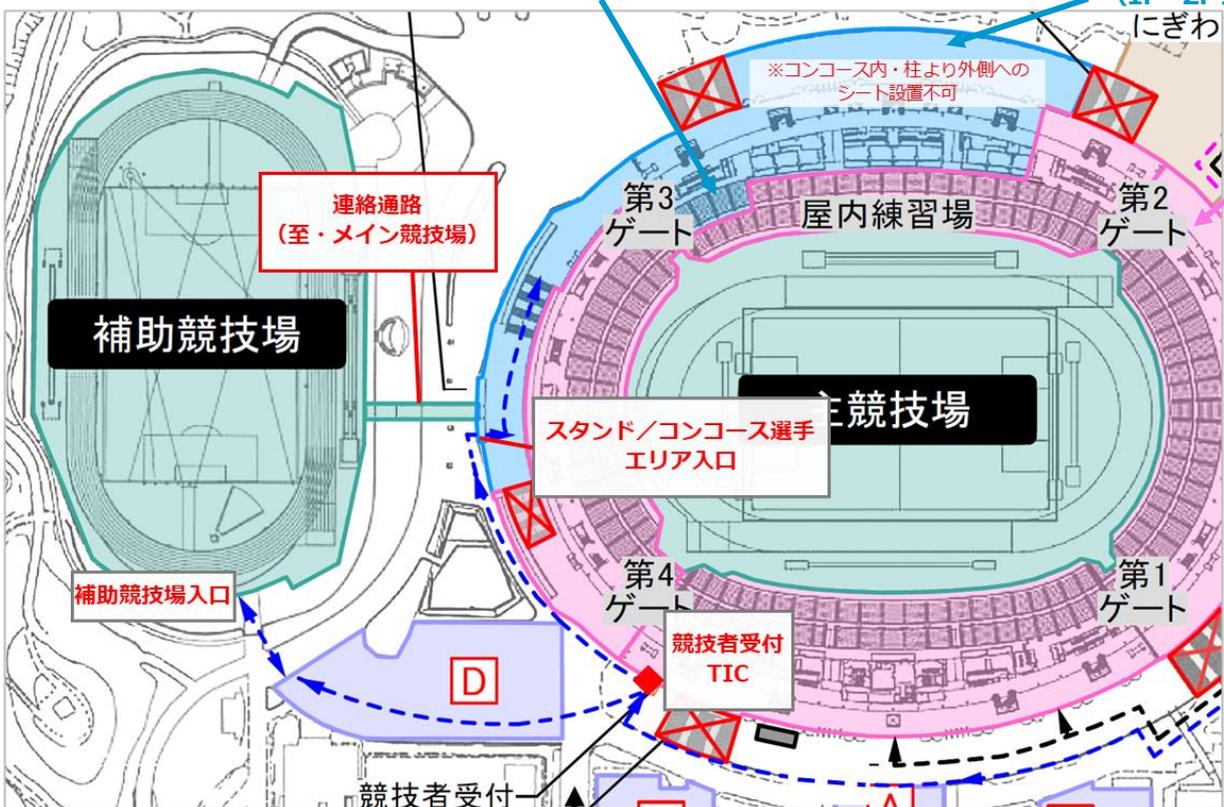


◆会場マップ

▼広域図



▼スタンド/コンコースエリア



選手控えエリア (1F・2Fコンコースの一部)

観客エリア

ADでのメインスタンド着席は控えください。
 (メインスタンドで観戦希望の場合は、チケットをご購入下さい)

※コンコース内・柱より外側へのシート設置不可

【別紙】デンカビッグスワンスタジアム コンコース上のシート張りについて

- ・選手控エリア（スタジアムバックストレート側1F・2F）のみ設置可能
- ・スペースに限りがあるため、譲り合って利用すること。
- ・期間中は荷物を置いておくことができるが、主催者側での管理・監察は行わないため注意すること。
 尚、動線の妨げ、または設置不可の場所にある荷物は主催者側で移動することがある。

1. シート張り禁止区域（別紙参照）

- ① コンコース通路（内側一定幅を除く）
- ② 消火栓前
- ③ 客席コンコース通路
- ④ 身障者席
- ⑤ エレベーター前
- ⑥ トイレ前
- ⑦ 使用売店前
- ⑧ AED設置場所前

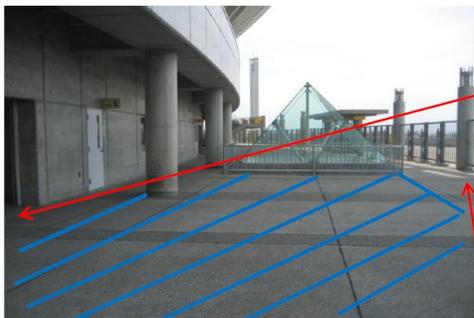
理 由

- ・緊急災害時における観客、選手の避難通路及び救急車両進入通路等の確保のため（①～③）

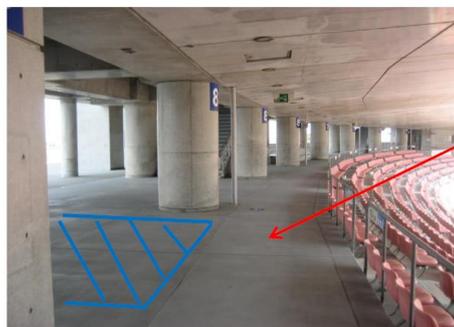
※消防法の順守

- ・身障者席の確保（④、⑤）
- ・一般来場者に対する配慮（⑥～⑧）

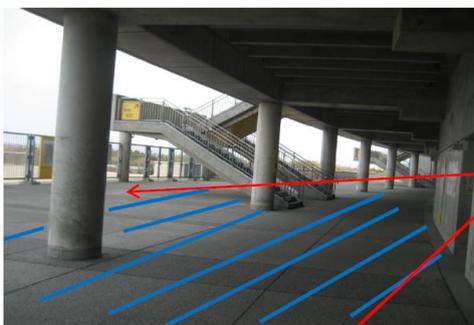
【シート張り可能な場所】（コンコース） 以下、例



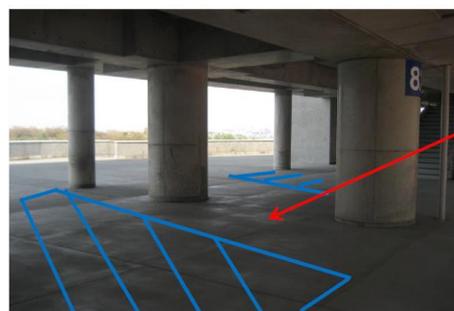
使用する売店前は
シート張り禁止で
す。



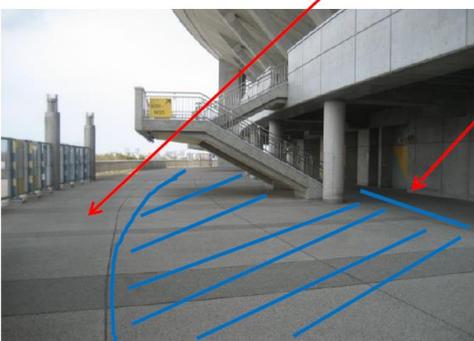
通路はシート張り禁
止区域です。



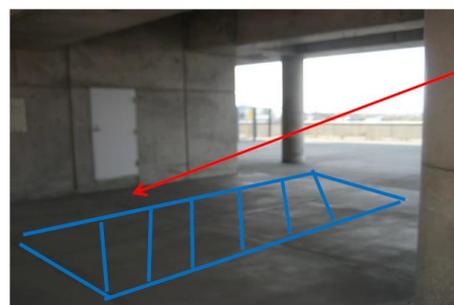
救急車、消防車等の
車両が通る場合が
ありますのでシート
張りはご遠慮くだ
さい。



一般来場者が通る
通路はシート張り禁
止です。



使用するトイレ前は
シート張り禁止で
す。



EPS扉前はシート張
り禁止です。